

令和4年度第2回村上市総合計画進捗検討会議での意見

(1) 村上市総合計画の進捗状況について

No.	項目・事業名	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	成果指標の設定	<ul style="list-style-type: none"> アウトプットよりもアウトカムのほうが市民生活や市民の皆様の満足度につながっていくものであるためしっかり整理していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> アウトプットとアウトカムが混在している状態となっていることから、本計画と関連する第2期村上市総合戦略や過疎地域持続的発展計画と整合を図る。
2	新規就農者支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 市内の新規就農者以外の農家において、例えば、コメ農家が花を新たに栽培する場合などもこの事業の対象者になれば、村上市の農業（特に担い手減少が激しい品目）の継続につながるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は国の要件を満たさない新規就農者への支援となっており、新規作物に取り組む支援策としては、農業振興事業のうち「水田利活用推進事業補助金」や「高収益作物等導入モデル実証事業補助金」等によって支援している。担い手の確保に向けた思案もしながら支援策についても検討する。
3	農業振興事業	<ul style="list-style-type: none"> 今年8月の豪雨災害のような自然災害への備えは重要だと思われる。例えば、水害の被害を受けた水田で稲作を行う場合はどんな留意点があるかといった知見の蓄積は重要である。可能であればリサーチや情報収集に関する支援があればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業には強靱化を確保する農業の概念というものは含まれていないが、今年8月の豪雨災害のこともあり、自然災害への備えを重要なことと認識している。今回の災害で学べることは情報収集等を行いながら、必要な支援につなげていきたいと考える。

No.	項目・事業名	意見の内容	意見に対する市の考え方
4	ゲートキーパー養成講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の人事担当も参加しやすいような案内をしていただくと、企業内での予防対策を練りやすくなる。官民が協力して自殺者をなくする取組が必要である。 ・ 1人暮らしの人や専業主婦など外部との接点が少ない人に対するゲートキーパーとの接点を創る取組も必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「むらかみ出前講座」のメニューのひとつに加えることによって、企業や市民からも広く活用していただけるように取り組む。 ・ 「ゲートキーパー養成講座」受講後、積極的に活動したい申し出があった方には、村上市社会福祉協議会の傾聴ボランティアを紹介している。またそれ以外の方には、日々の暮らしの中で、できる範囲で隣近所の見守りやあいさつ、声掛けなどをお願いしている。
5	戦略的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合計特殊出生率の向上は望ましいことであるが、本市が置かれている状況は危機的であると痛感している。様々な事業に取り組んでいると感じられるが、事業が並列的に展開しており、市の危機的状況にどのように答えていくのかという戦略的なものが見えていないと感じる。プライオリティやメリハリをつけて事業を実施するという戦略性が問われている。 ・ 5つの基本目標の縦割りに対して、例えば、子育て対策であれば、子育て分野のみならず他の分野でも関連してくるものもあることから横串的に重点的に取り組む方法もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化を含む人口減少問題は本市の最重要課題であり、地方創生や持続的発展に取り組む村上市総合戦略、効果的なサービスや効率的な運営に取り組む村上行政改革大綱を重点戦略に位置づけることで危機感を持ちながら優先的に取り組むものとしている。 ・ 1つの政策は単独で完結するものではなく複数の政策分野が関わることで最善の取組につながると認識している。多種多様なステークホルダーと関わりを持ちながら他分野への横展開に取り組む。

No.	項目・事業名	意見の内容	意見に対する市の考え方
6	認知症総合支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 「認知症」だけでなく、予防全体でサポーターなどを設けて地域で隣の人を見守るなどのサポートを普及していけばよい。身体機能別など様々なケースがあればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に限らず、誰にとっても安心して暮らせる地域共生社会を目指し、出前講座等様々な機会を通して支えあいの大切さを啓発している。地域のサポーターとして住民主体のしくみをつくり活動をはじめた町内もあり、引き続きこのような取り組みを進める。
7	ボーダレスな環境を活かす	<ul style="list-style-type: none"> これだけ市域が広いとDXで市民の生活が向上する部分は多くある。例えば、タブレットやスマホを使った買い物やタクシーの予約、バスの現在地の確認などが考えられる。村上市にとってデジタルを市民が活用することは大事であるためスピード感をもって取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月策定の「村上市DX推進方針」に基づき、今年度設置したデジタル化推進室が中心となり進めている。すべての市民に等しく行政サービスを提供するために、デジタル技術やAI等を活用して地域の地理的条件を克服し、市民誰もが、利便性や快適性を享受できる効率的なサービス運営をスピード感をもって展開する。
8	観光入込客数	<ul style="list-style-type: none"> 村上市は魅力がたくさんある場所と思われるが、実際に観光に行ったときに歓迎されているというイメージがあるとさらに良い。例えば、駐車場や飲食店などの位置を分かりやすくするなど観光客も壁を低くして楽しめる環境づくりが、村上市に行ってみたいという波及効果にもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 村上市を訪れた方が満足して帰られることが次につながるものと考え。知りたい情報が視覚的にまた簡単に手に入るようなものを構築しながら、受入れ側の意識醸成を含め観光客の満足度を高めていくという観点を持ちながら施策を検討する。

No.	項目・事業名	意見の内容	意見に対する市の考え方
9	道の駅朝日リニューアル整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新発田市や阿賀野市の道の駅ではパンやソフトクリームの販売が売りとなっており、SNSでも話題となり、上手に情報発信している。道の駅朝日も売りやコンセプトを示してリニューアルを進めればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅朝日のリニューアルについては、今年度発注したプロデュース業務委託の中で、運営コンセプトの適正化やポテンシャル分析を行いながらリニューアルを進めているところである。
10	各種委員の女性登用比率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の各協議会や審議会では積極的な女性の登用に取り組んでいるとのことであるが、例えば、防災分野において女性役員がある程度の人数がいると女性目線での避難所設営にもつながる。登用比率が低い分野の割合を上げることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在策定を進めている第3次村上市男女共同参画計画の施策の中で「地域の安全・防災活動における男女共同参画の推進」として、災害時への対応、消防団員・防災士への女性参画の拡充を図ることとしている。